

「子どもはぐくみ局(仮称)創設に向けたコンセプト」

子どもや青少年と
家庭を取り巻く状況

【背景】

- ・少子化の進行
- ・地域社会の共同関係の希薄化
- ・家族規模の縮小・共働き家庭の増加
- ・経済的に厳しいひとり親家庭等が増加
- ・子どもの生活環境の変化

【課題】

- ▼多様な働き方等に応じた子育て支援ニーズの増大・多様化
- ▼子育てに対する不安感・負担感の増大, 子育ての孤立化, 児童虐待の増加
- ▼家庭や地域社会の「子育て力」の低下
- ▼子どもの生活環境・社会情勢の変化による影響
- ▼貧困家庭の子どもに対する対応
- ▼ニート, 引きこもり, 不登校など社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の存在

「子どもを共に育む京都市民憲章」
「京都市未来子どもはぐくみプラン」
「京都市ユースアクションプラン」

市

「子ども・子育て支援新制度」
「次世代育成支援対策推進法」
「子ども・若者育成支援推進法」

国

【求められる施策】

- ▼ニーズに応じた子ども・子育て支援施策の強化
- ▼子どもの成長や発達に応じた切れ目のない支援
- ▼子ども・子育てを温かく見守り, 共に支え合う地域づくりの推進
- ▼青少年が「生きる力」を身につけ, 社会を構成し活躍する大人への成長を支援

課題

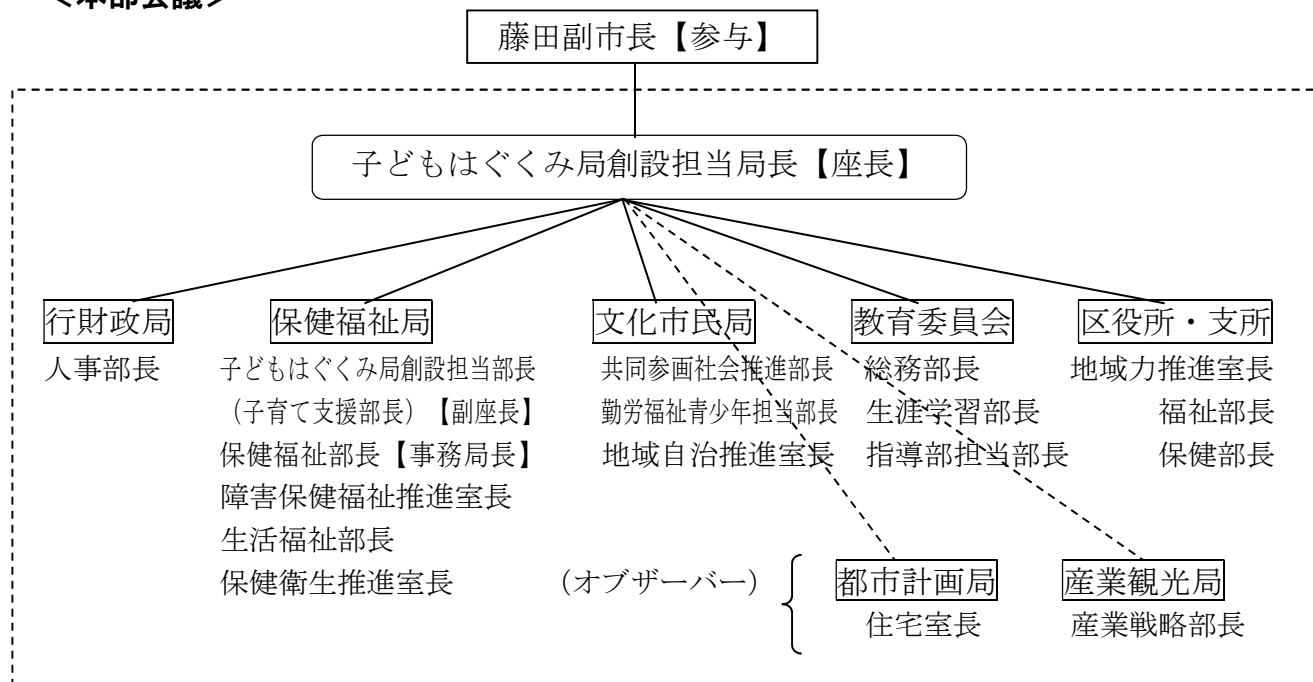
- 子どもの施策が局間・局内に分散しており, 横断的な政策課題に即応しにくい
- 区役所・支所窓口が所管別・業務別になっており, 市民が各窓口を回らなければならない

少子化対策, 子どもや子育てに関する支援を, より総合的かつ積極的に
推進し, 効果的な施策展開ができるように

- ①平成29年4月に子どもはぐくみ局(仮称)を創設し, 子どもや青少年等に関する施策を融合し, 子育て支援施策を一元的かつより強力に推進します。
- ②各区役所・支所に子どもの総合的かつ専門的な窓口を設置し, 市民の視点で, 分かりやすく総合的に対応できる分野別の組織や窓口に再編します。

子ども、青少年、家庭教育等の施策の総合的な推進体制に関する検討会議 ～子どもはぐくみ局創設に向けて～

<本部会議>



<部会>

子どもはぐくみ局所管事務検討部会

(所管業務・連携体制の構築の検討)

子どもはぐくみ局創設担当課長

(児童家庭課長)【部会長】

保健福祉総務課労務担当課長【事務局】

(以下各課長級)

- 行財政局
 - 人事課
- 文化市民局
 - 男女共同参画推進課, 勤労福祉青少年課
- 産業観光局
 - 産業政策課
- 保健福祉局
 - 保健福祉総務課, 監査適正給付推進課, 障害保健福祉推進室, 地域福祉課, 児童家庭課, 保育課, 保健医療課, 医務衛生課
- 都市計画局
 - 住宅政策課
- 教育委員会
 - 教育委員会総務課, 調査課, 学校指導課, 生徒指導課, 体育健康教育室, 教育相談総合センター・カウンセリングセンター, 生涯学習推進担当, 家庭地域教育支援担当, こどもみらい館総務課

区役所・支所窓口検討部会

(窓口の構成の検討)

子どもはぐくみ局創設担当課長

(児童家庭課長)【部会長】

保健福祉総務課労務担当課長【事務局】

(以下各課長級)

- 文化市民局
 - 地域自治推進室
- 保健福祉局
 - 保健福祉総務課, 障害保健福祉推進室, 地域福祉課, 保険年金課, 児童家庭課, 保育課, 長寿福祉課, 介護保険課, 保健医療課, 医務衛生課
- 区役所・支所
 - 総務・防災担当, 福祉介護課, 支援保護課, 保険年金課, 健康づくり推進課, 衛生課